

目的 加齢により変化する成人女子のからだつきの特徴を明らかにし、年齢特性を表すシルエットを抽出して、年齢の異なるシルエットに対してどのような評価やイメージをいなくのかを把握することを目的とした。

方法 シルエットの抽出には、19～82歳の成人女子689名のシルエット写真を用いた。シルエット写真計測値および体重の51項目のデータを、主成分分析によって要約し、個人スコアを出力して、年代別の特徴をとらえた。個人スコアと年代を現す値によって判別分析を行い、実年代と推定年代とが合致し、しかも各年代の個人スコアの平均値に近く、年齢特性を表すシルエットを抽出した。抽出した7つのシルエットを提示資料として、どのような部位に注目してシルエットの評価がなされるか、年代の判定や年代別にいなくイメージはどうか等について質問紙調査法により調査した。

結果 シルエット写真計測値を主成分分析した結果、高さの因子、前後のバランスの因子、体幹部厚みの因子、体幹部表面角度の因子、上下のバランスの因子等が抽出された。年齢のグループを 1)19～24歳 2)25～34歳 3)35～44歳 4)45～54歳 5)55～64歳 6)65～74歳 7)75～82歳として7つのシルエットを抽出した。シルエットの評価は、まず姿勢や体幹部の形状によって評価され、ついで足、腕、胸やヒップの形状などからなされており、年代の推定もかなりの的中を得た。年齢グループ別シルエットに対するイメージは若さと美しさの因子、力強さの因子、ふくよかさの因子に要約された。